



笠ヶ岳付近のテントサイト近くで（1日目）



笠ヶ岳山頂(2058m)から至仏山(左)と燧ヶ岳 (2 日目)





笠ヶ岳山頂から武尊岳（2日目）



笠ヶ岳山頂から群馬栃木県境尾根。左端が日光白根山、中央やや右が先日縦走した皇海山。(2日目)





悪沢岳から笠ヶ岳(右)と武尊岳 (2日目)



至仏山(2223m)山頂から上越国境の山々。左端が谷川連峰、右端が巻機山。(2日目)





上の写真の続き。左端が巻機山、右端が中ノ岳と越後駒ヶ岳。(2日目)



上の写真の続き。左端が中ノ岳・越後駒ヶ岳、中央が平ヶ岳。(2日目)





至仏山山頂から燧ヶ岳と尾瀬ヶ原。中央やや左は会津駒ヶ岳。(2日目)



至仏山から平ヶ岳、越後駒ヶ岳と続く稜線を進む（2日目）





中ノ岳（左）と、目標の越後駒ヶ岳。やはり北の方は真っ白。（2日目）



ススケ峰あたりから後ろを振り返る。中央は至仏山、右は笠ヶ岳。(2日目)





平ヶ岳へと続くなだらかな稜線。平ヶ岳の少し右の低いのが白沢山。2日目はこの坂を下りきった鞍部で幕営した。



平ヶ岳(2141m)への登り。(3日目)





平ヶ岳山頂から、大水上山、中ノ岳へと続く稜線。すぐ先の稜線の登りが問題の剣ヶ倉山。(3日目)



剣ヶ倉山(1998m)の登り。単独なので雪庇の崩れ方が悪ければ引き返すことも考えていたが、何とか通過できた。(3日目)





ほっ、と一息つき、剣ヶ倉山山頂から後ろを振り返る。



大水上山・中ノ岳へと続く稜線（3日目）





右の槍ヶ岳のような山は荒沢岳。荒沢岳から中ノ岳へ続く尾根を縦走してみたい。



滝ヶ倉山付近から後ろを振り返る。右が剣ヶ倉山。(3日目)





滝ヶ倉山(1716m)から藤原山(1709m)までは雪庇が崩壊していたりクレバスだらけだったりで、藪こぎの連続。(3日目)



藤原山から大水上山(右から 2 番目のピーク。目立たないが、利根川の水源地)までもう一息。(3 日目)





大水上山への登りは雪庇の状態が悪く、大変緊張した。この縦走で、この部分が一番悪かった。(3日目)



大水上山から利根川源流を見下ろす。遠く、右に至仏山、左に平ヶ岳。(3日目)





大水上山から、中ノ岳(2085m)。左遠くは八海山。(3日目)



大水上山から、この日歩いてきた稜線を振り返る。この稜線が今回の縦走の核心部だったので、感無量。(3日目)





兎岳から中ノ岳を仰ぎ見る。右は越後駒ヶ岳。(4日目)



兎岳と中ノ岳の間から南の眺め。巻機山周辺に陽が射している。(4日目)





中ノ岳山頂から越後駒ヶ岳(2003m)。この間もかなりの藪こぎ。(4日目)



八海山はなかなか立派。檜廊下から。(4日目)





越後駒ヶ岳山頂近くから、中ノ岳を振り返る。(4日目)



目標の越後駒ヶ岳山頂に到着！山頂からこの北東の眺めには感動。遠くに霞んで見えるのは、標高こそ高くないもののアプローチがいまだに大変悪く、山深い毛猛山塊。左端は末丈ヶ岳(1553m。この山だけはシルバーラインから登山道が開かれている。) (4日目)





小倉山から越後駒ヶ岳を仰ぎ見る。(5日目)



小倉山から荒沢岳(1969m)。荒沢岳は立派な山容をしている。(5日目)





麓の駒の湯から仰ぎ見る越後駒ヶ岳。(5日目)





山のすそ野はブナの新緑が見事。(5日目)